

宇陀市（奈良県宇陀市）

R5補正
R6当初

55

背景・課題

宇陀市は県内でも有機農業が盛んな地域であり、軟弱野菜生産を中心とした経営が展開されている。

有機野菜は主に相対取引であるため計画出荷が必要となるが、計画播種だけでは対応が難しく、規格外品も多く出ることから流通ロス低減・多様な流通先確保が課題となっている。

成果目標

現状取組面積 R5：22.8ha

有機農業の取組面積の拡大

R3年度 21.2ha → R9年度 22ha

有機農産物の販売数量の拡大

R3年度 275.2t → R9年度 290t

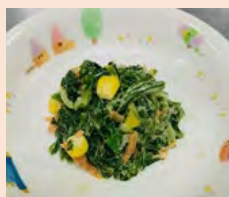
有機農業に取り組む農業者数の増加

R3年度 15人 → R9年度 20人

主な取組内容

- 学校への有機農産物供給体制構築
- 規格外品を活用した加工品開発
- 販路拡大に向けた商談
- 有機農業の取組拡大、視察研修
- 有機農業のブランディング、PR など

消費



学校給食での有機野菜の活用



オーガニックビレッジのシンボルマーク、HP

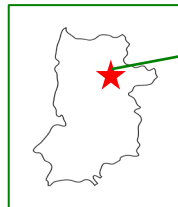


市内全ての学校で有機農産物を定期的に活用して食育に取り組む。イベントでの積極的な広報、シンボルマークを活用したPRなどを通し、消費者へ有機農業を普及啓発。

普及に向けた取組

生産については、これまで取組が少なかった水稻の有機農業について「グリーンな栽培体系への転換サポート」を活用して実証を行うとともに、新規取組者向けに有機JAS認証制度講習会や取得支援、視察研修等に取り組むことで有機農業の生産拡大につなげていく。

販路については、商談会に積極的に出店することにより取引拡大を図り経営のリスク分散を図る。また、学校給食での食育やオーガニックビレッジフェスの開催、シンボルマークやHPを活用した広報・PR等により消費者への有機農業の普及啓発に取り組む。



宇陀市

構 成 員

宇陀市

品 目

軟弱野菜、水稻 等

生産



研修会の開催

有機農業への転換や新規参入を考えている人を対象に、技術研修や有機JAS制度講習会、認証取得支援を実施。

加工・流通



オーガニックライフスタイルEXPOin東京への出展

オーガニックライフスタイルEXPOin京都及び東京などへの出展により取引先を拡大。規格外品を活用した加工品開発も行う事で、有機農産物の有効活用に取り組む。

問い合わせ先

宇陀市農林商工部農林課
TEL：0745-82-3679